



官能評価

感性の時代の新製品開発に応える官能評価

「自社製品は他社製品より優れているのか知りたい」「新製品開発するために指針となる基準がほしい」等のお悩みをお持ちの方は、人間の「感性」を計測する手法である官能評価の習得が必要不可欠です。

当セミナーでは、官能評価特有の考え方や統計手法を習得できます。新製品開発や新市場開発のために必要な官能評価の基本事項を、実験・演習を通じて確実にマスターできます。官能評価をこれから業務で使う方、始めたばかりの方に最適なコースです。

特徴

- 官能評価で最も使われる4つの基本技法(識別試験法・評定法/SD法・順位法・一対比較法)について学びます。
- 官能評価の初歩から学びたい方のため、実験を行って技法の特徴をつかむと共に、実験上の注意点を学ぶことができます。
- 官能評価の計画立案、実施、データ収集・解析・評価など、一連の官能評価実験の流れを実際に体験できます。
- 官能評価で用いられる代表的な統計手法について解説し、Excelを用いた計算方法を習得できます。

対象

- ・官能評価関係の業務(市場調査・製品企画・設計・新製品開発・製造・販売などの業務)に携わっている方、これから取り組もうとされる方
- ・平均・分散・相関係数・検定・推定などについて既習の方

会場

東京・日科技連 本部

講師

大学・産業界の経験豊富な講師が指導にあたります

参加費

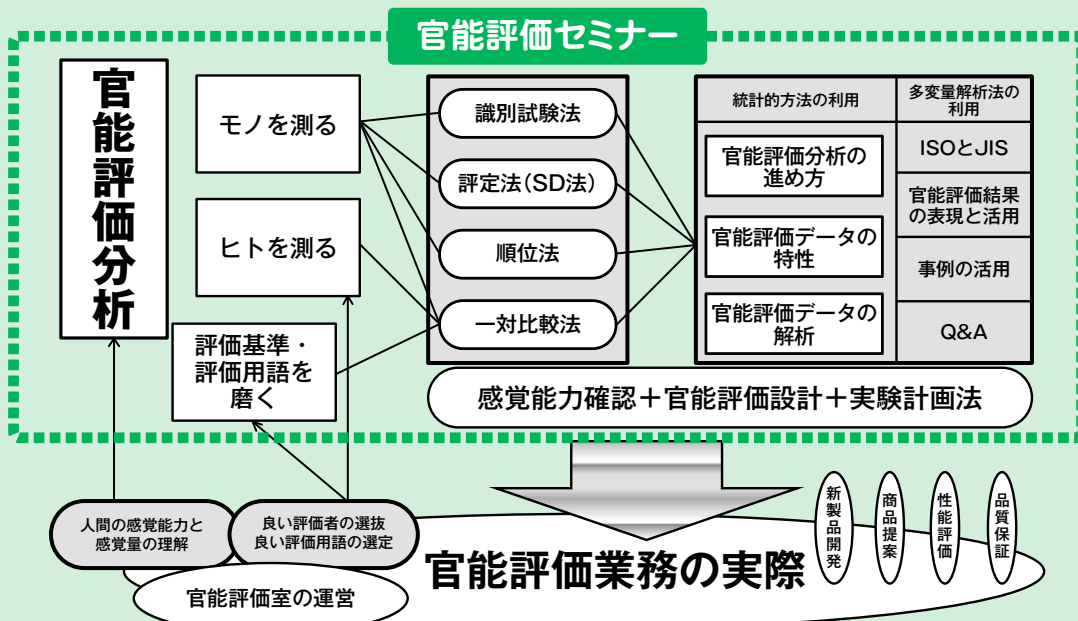
99,900円(一般) / 90,720円(会員)

カリキュラム～4日間コース(前期・後期各2日間)

		午前	午後
前期	第1日 9:20~17:30	官能評価分析とは、評価の形式と方法の使い分け 「識別試験法」：違いのあるサンプルを選ぶ(解説、実験と演習、例題による解説)	比率データの解析(2点識別、3点識別) 宿題とグループ構成の発表 17:30~ 統計の補講(自由参加)
	第2日 9:30~17:30	順位法特論「順位データのグラフ表現」	「順位法」：多くのサンプルで一度に優劣を決める(解説、実験と演習、活用例) 順位データの解析 グループ別課題作業
後期	第3日 9:30~17:30	「評定法(SD法)」：サンプルを多面的に評価する(解説、実験と演習、活用例)	評定データの解析(分散分析、主成分分析) グループ別課題作業
	第4日 9:30~17:00	「一対比較法」：どうしても差を出したい場合(解説、実験と演習、活用例)	一対比較データの解析 グループ別課題発表/総合質疑応答

回数	日程
1	前期 6月13日(火)~14日(水)
	後期 7月11日(火)~12日(水)
2	前期 10月3日(火)~4日(水)
	後期 11月7日(火)~8日(水)

官能評価の計画立案、実施、データ収集・解析・評価など、一連の官能評価実験の流れを実際に体験できます。



官能計画セミナーの概要と実際業務との位置づけ